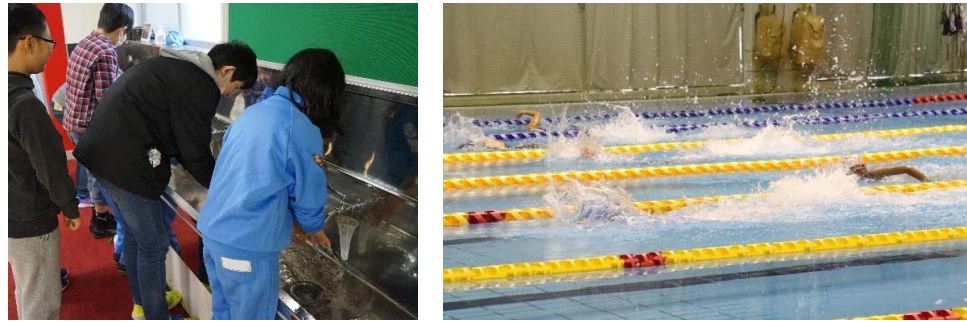


(2) 水はどこから

毎日の暮らしの中で、水はどれくらい使われているのでしょうか。



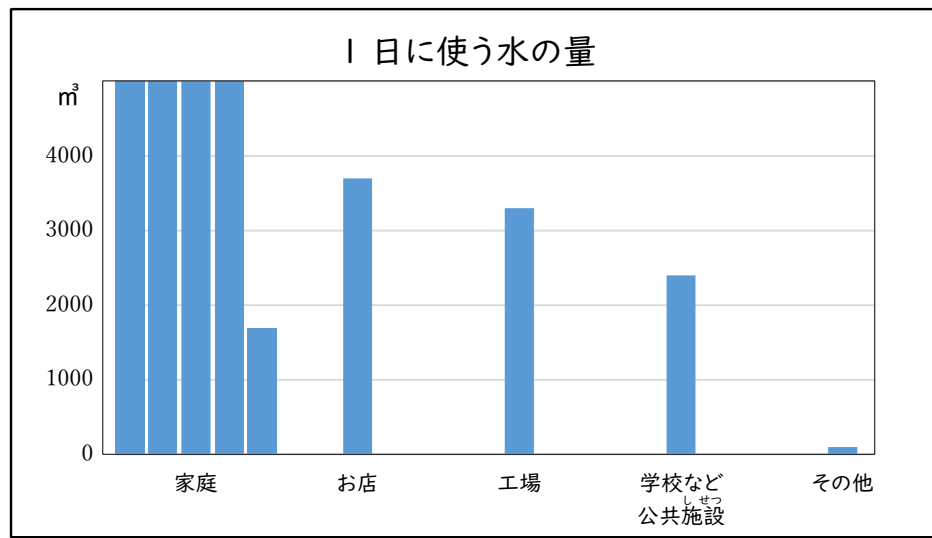
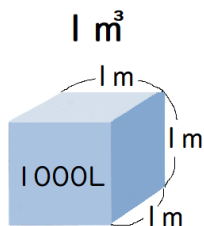
① 家で使われる水の量調べ

(月 日調べ)

使われる場所	使った量のめやす	家でどれくらい使うか計算 (家族の分も入れて)	使った量
お風呂	よくそう 浴槽1回ためると約200L	約200L× 1回 =	200L
シャワー	1分間で約12L	12L× 分 =	L
トイレ	古いトイレ1回約20L 新しい節水トイレ1回約8L	L× 回 =	L
料理	水を出す時間1分間で約12L	12L× 分 =	L
せんたく	せんたく機1回約110L	110L× 回 =	L
洗面など	水を出す時間1分間で約12L	12L× 分 =	L
その他	水を出す時間1分間で約12L	12L× 分 =	L
合計			L

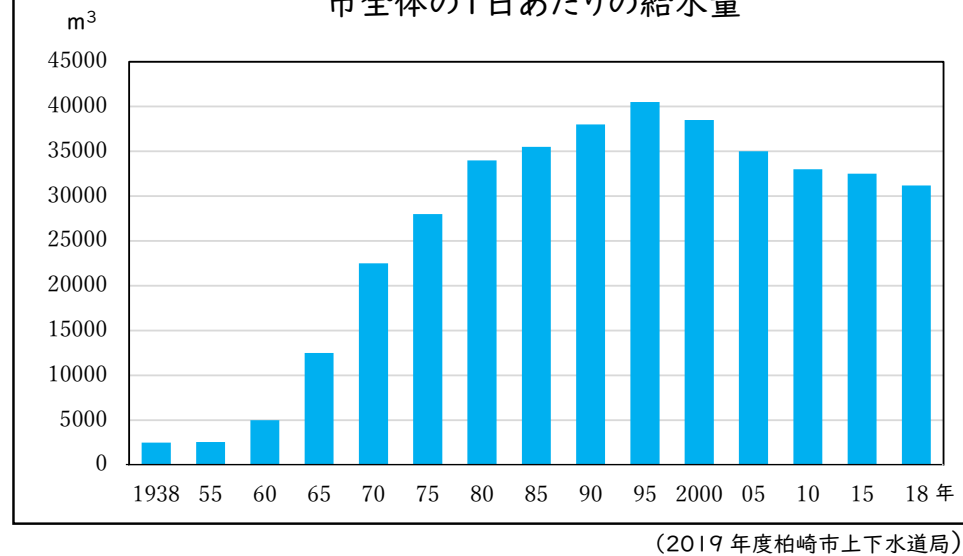
東京都水道局ホームページより ※計算機を使いましょう。
<https://www.waterworks.metro.tokyo.jp/kurashi/shiyou/jouzu.html>

※1m³(立方メートル)
= 1000L
1Lの牛乳パックが
1000本分



(2019年度柏崎市上下水道局)

市全体の1日あたりの給水量



市全体の水の使用量のう
つり変わりを
見てみましょ
う。



※平成24(2012)年10月から
刈羽村へ給水開始

② 柏崎の水道の歩み

工事	期間	おもなしせつ
はじめ*	1935~1938	川内ダムと川内浄水場がつくられ、1074けん(そのころの全町の5分の1くらい)の家の人が上水道を使った。
1次	1949	川内ダムのちよ水量をふやし、川内浄水場のしせつを広げた。
2次	1956~1959	川内浄水場とみさき町配水場のしせつを広げた。
3次	1964~1966	赤坂山浄水場がつくられた。
4次	1968~1969	赤坂山浄水場のしせつを広げた。
5次	1970~1975	1973年に谷根ダムができた。赤坂山浄水場のしせつをさらに広げた。
6次	1981~1990	1989年に赤岩ダムができた。赤坂山浄水場のしせつをさらに広げ、給水量が大きくふえた。
西山拡張	2005~2011	2011年4月に赤坂山浄水場から西山町へ給水を開始した。
刈羽拡張	2012	2012年10月に赤坂山浄水場から刈羽村へ給水を開始した。
改良	2014	川内ダムの安全性を高めるために改良工事を行った。

*p.107を見ましよう。

柏崎の水道は
どのようにして
広がってきた
のかな。



柏崎市上下水道局の人の話

柏崎市全体では、1日に約32000m³の水が使われています。

平成7(1995)年までは、年々使用量がふえ続けていきましたが、その後は、少しずつへってきています。

これは、人口がへったことや節水器具が広まったこと、また、みんなの節水に努めようとする気持ちが広まってきたことが大きな理由です。1年のうちでも時期によって使用量は大きくちがいます。1年間で使用量が多いのは、7・8月の暑い時期です。



ダムの水は、ど
のようにして生
活の中で使える
ようになるのか
な。

